



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月9日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 大
 コード番号 7997 URL http://www.kurogane-kks.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神足 泰弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 神足 尚孝 (TEL) 06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	5,343	△6.7	130	6.4	86	△1.7	87	19.0
24年11月期第2四半期	5,727	2.8	122	29.7	88	60.9	73	△6.0

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 219百万円(123.3%) 24年11月期第2四半期 98百万円(61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年11月期第2四半期	円 銭 5 12	円 銭 —
24年11月期第2四半期	4 30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年11月期第2四半期	百万円 10,813	百万円 3,863	% 35.6
24年11月期	10,550	3,644	34.4

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 3,849百万円 24年11月期 3,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年11月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 10,800	% 1.0	百万円 220	% 11.2	百万円 170	% 30.8	百万円 160	% 60.3	円 銭 9 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期2Q	18,571,139株	24年11月期	18,571,139株
25年11月期2Q	1,530,823株	24年11月期	1,530,268株
25年11月期2Q	17,040,712株	24年11月期2Q	17,041,366株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気後退局面が長期間にわたりましたが、政権交代による新たな経済政策に対する期待感から、円安・株高基調による景気回復への兆しが見えてまいりました。しかしながら、その後の株式市場における株価の乱高下やエネルギー問題による電力料金の値上げ、新興国の成長鈍化など、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境下で当社グループは、オフィスのICT化によるオフィス環境整備需要への対応、病院等ヘルスケア施設や高齢者関連施設等の市場開拓に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,343百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益は130百万円（前年同四半期比6.4%増）、経常利益は86百万円（前年同四半期比1.7%減）、四半期純利益は87百万円（前年同四半期比19.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

【家具関連】

(事務用家具部門)

オフィス家具市場は、首都圏・西日本地区における金融機関の店舗その他施設の移転・統合案件の取り込み、教育施設及び医療関連施設への積極的な営業展開等に努力しましたが、売上高は前年同四半期を下回りました。

(家庭用家具部門)

主力商品の学習デスクは少子化、購入率低下、低価格化が続いていますが、新販売ルートの開拓効果や、デザイン、機能で差別化された商品が市場で評価されたこと等により売上高は前年同四半期を上回ることができました。

その結果、家具関連の売上高は3,322百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント利益（営業利益）は164百万円（前年同四半期比21.8%減）となりました。

【建築付帯設備機器】

(建築付帯設備他部門)

病院マーケットに向けて注力しております医療ガスアウトレット／情報端末内蔵式設備ユニット「メディウオード・ユニット」は完工物件数が増加しました。また、当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドア・ユニット」の新バリエーションであるBNR型による快適な治療・療養環境創りへの提案が市場で評価され、受注は順調に推移しましたが、一部受注物件の竣工がズレ込んだこと等により売上高は前年同四半期を下回りました。

(クリーン機器他設備機器部門)

顧客ニーズに対応した病院向け空調・クリーン機器の開発や医薬品研究施設向けクリーン機器の受注拡大への取り組みを積極的に行いました。

無菌病室用クリーン機器の受注が比較的順調に推移し、一般工場向け空調機については、新規設備投資案件、リニューアル案件共に受注確保に鋭意努力しました結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は2,021百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は98百万円（前年同四半期比161.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は10,813百万円となり、前連結会計年度末に比べて262百万円増加いたしました。この主な要因は現金及び預金が221百万円、受取手形及び売掛金が78百万円、投資有価証券が226百万円増加し、たな卸資産が227百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は6,949百万円となり、前連結会計年度末に比べて43百万円増加いたしました。この主な要因はその他流動負債が124百万円増加し、支払手形及び買掛金が47百万円、長短借入金が49百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は3,863百万円となり、前連結会計年度末に比べて219百万円増加いたしました。この主な要因は利益剰余金が87百万円、その他有価証券評価差額金が133百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動による資金の増加358百万円、投資活動による資金の減少53百万円、財務活動による資金の減少82百万円となったこと等により、前連結会計年度末に比べ、167百万円増加し1,272百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益100百万円、減価償却費117百万円、たな卸資産の減少額227百万円等による資金増加要因と仕入債務の減少額77百万円等による資金減少要因の結果、358百万円の資金増加(前年同四半期は331百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出19百万円、投資有価証券の取得による支出70百万円等による資金減少要因と投資有価証券の売却による収入59百万円等による資金増加要因の結果、53百万円の資金減少(前年同四半期は106百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出(純額)175百万円による資金減少要因と長期借入れによる収入(純額)125百万円等による資金増加要因の結果、82百万円の資金減少(前年同四半期は226百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、平成25年1月17日に公表しました平成25年11月期の売上高の予想を期初予想比500百万円減少の10,800百万円に修正しております。

なお、通期の営業利益、経常利益、当期純利益については、期初予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,065,947	1,287,765
受取手形及び売掛金	1,777,173	1,855,278
商品及び製品	671,617	751,265
仕掛品	1,152,576	891,900
原材料及び貯蔵品	232,158	185,704
その他	79,644	73,951
貸倒引当金	△4,035	△4,242
流動資産合計	4,975,084	5,041,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,845,788	1,784,211
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	259,703	276,469
有形固定資産合計	4,480,773	4,435,962
無形固定資産		
	45,190	48,494
投資その他の資産		
投資有価証券	929,381	1,155,393
その他	162,751	143,898
貸倒引当金	△42,893	△12,214
投資その他の資産合計	1,049,239	1,287,077
固定資産合計	5,575,203	5,771,534
資産合計	10,550,288	10,813,156
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,926	1,668,533
短期借入金	1,665,600	1,490,200
1年内返済予定の長期借入金	799,443	829,959
未払法人税等	29,026	20,834
その他	630,300	755,095
流動負債合計	4,840,297	4,764,622
固定負債		
長期借入金	1,078,224	1,173,230
退職給付引当金	292,242	305,790
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
再評価に係る繰延税金負債	411,890	411,890
リース債務	154,303	140,618
その他	118,722	143,231
固定負債合計	2,065,821	2,185,197
負債合計	6,906,118	6,949,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	96,184	183,469
自己株式	△157,179	△157,233
株主資本合計	2,937,461	3,024,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,802	111,722
繰延ヘッジ損益	—	△1,086
土地再評価差額金	714,477	714,477
その他の包括利益累計額合計	692,674	825,112
少数株主持分	14,033	13,531
純資産合計	3,644,169	3,863,336
負債純資産合計	10,550,288	10,813,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	5,727,087	5,343,145
売上原価	4,562,234	4,225,937
売上総利益	1,164,853	1,117,208
販売費及び一般管理費	1,042,468	987,004
営業利益	122,385	130,203
営業外収益		
受取利息	30	24
受取配当金	5,059	5,280
持分法による投資利益	447	3,841
仕入割引	9,131	7,915
その他	5,825	2,674
営業外収益合計	20,494	19,737
営業外費用		
支払利息	40,062	40,576
その他	14,577	22,644
営業外費用合計	54,640	63,220
経常利益	88,239	86,720
特別利益		
投資有価証券売却益	167	14,650
特別利益合計	167	14,650
特別損失		
固定資産除却損	998	449
投資有価証券評価損	347	—
特別損失合計	1,345	449
税金等調整前四半期純利益	87,061	100,920
法人税、住民税及び事業税	10,461	13,390
法人税等調整額	△1	△2
法人税等合計	10,459	13,388
少数株主損益調整前四半期純利益	76,601	87,532
少数株主利益	3,263	247
四半期純利益	73,338	87,285

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,601	87,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,558	133,383
繰延ヘッジ損益	△1,184	△1,086
土地再評価差額金	55,535	—
持分法適用会社に対する持分相当額	109	141
その他の包括利益合計	21,902	132,438
四半期包括利益	98,504	219,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,241	219,723
少数株主に係る四半期包括利益	3,263	247

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,061	100,920
減価償却費	108,452	117,278
有形固定資産除却損	998	—
無形固定資産除却損	—	449
投資有価証券売却損益(△は益)	△167	△14,650
投資有価証券評価損益(△は益)	347	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,449	△30,471
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,521	△9,283
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△10,123	—
受取利息及び受取配当金	△5,090	△5,305
支払利息	40,062	40,576
為替差損益(△は益)	0	△17
持分法による投資損益(△は益)	△447	△3,841
売上債権の増減額(△は増加)	215,966	22,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,322	227,527
仕入債務の増減額(△は減少)	24,917	△77,553
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,522	48,848
その他の流動資産の増減額(△は増加)	31,149	△4,536
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,073	13,747
その他	△14,932	△12,075
小計	386,347	414,081
利息及び配当金の受取額	5,090	5,306
利息の支払額	△39,425	△39,200
法人税等の支払額	△20,922	△21,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,091	358,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△73,155	△19,415
無形固定資産の取得による支出	△6,051	△9,139
投資有価証券の取得による支出	△40,156	△70,971
投資有価証券の売却による収入	21,831	59,014
貸付けによる支出	△1,175	△1,508
貸付金の回収による収入	1,225	1,556
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△8,627	△13,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,109	△53,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,970,000	1,807,000
短期借入金の返済による支出	△2,928,546	△1,982,400
長期借入れによる収入	150,000	580,000
長期借入金の返済による支出	△395,241	△454,477
自己株式の取得による支出	△12	△53
少数株主への配当金の支払額	—	△750
その他の支出	△23,199	△32,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,999	△82,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,018	221,817
現金及び現金同等物の期首残高	1,106,881	1,050,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,104,863	1,272,765

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

①前第2四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,644,222	2,082,865	5,727,087	—	5,727,087
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	3,644,222	2,082,865	5,727,087	—	5,727,087
セグメント利益	209,784	37,502	247,286	△124,901	122,385

(注) 1 セグメント利益の調整額△124,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,322,069	2,021,076	5,343,145	—	5,343,145
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	3,322,069	2,021,076	5,343,145	—	5,343,145
セグメント利益	164,128	98,115	262,243	△132,040	130,203

(注) 1 セグメント利益の調整額△132,040千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。